

ヤングケアラーに対し、**私たちが**できることは？

ヤングケアラーの子どもたちに対し、私たちはどのように接し、何ができるのか。学校や地域社会の中でヤングケアラーに向き合う方にお話を伺いました。



市の指導課には、学校だけでは支援が難しい子どもの問題解決を図る「スクールソーシャルワーカー」が常駐しており、児童・保護者・担任などさまざまな立場から相談が寄せられます。内容は主に「不登校」の相談が多く、その背景をひも解いていくと、友人関係や発達の問題、心理的不安、家庭の問題などが見えてきます。ヤングケアラーもその背景の一つですが、子ども自身はケアをしている「自覚」がないことも多く、それがこの問題の難しいところだと思います。

当事者の子どもたちは、「気持ち分かってもらえず孤独」「親を困らせたくないから、いやだと言えない」「自分のやりたいことはあるが、言い出しにくい」など、家族や大人に本当の気持ちを打ち明けられないという悩みを抱えていることが多いです。また、早朝から家事を頼まれて生活リズムが乱れ、不登校になってしまうなど学業に支障が出るケースもあります。

ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題のため表面化しにくく、適切な支援に結び付いていないケースが多いと感じています。この問題を解決していくには、私たち大人が周囲の子どもに関心を持ち、ヤングケアラーのことをもっと知り、この問題をもっと広めていくことが必要です。学校の先生だけでなく、親戚の方や地域の大人も温かい目で見守り、子どもたちが「周りの大人を頼っていいんだ。話をしているんだ。」と思える社会になっていくといいですね。

子どもたちがもっと

大人を頼れる社会に

湯本 勝洋さん

(結城市教育委員会 指導課長)

子どもの問題 に気づいたら 家庭児童相談室 へ

家庭児童相談室では、18歳未満の子どもに関する養育の不安や悩みなど、あらゆるご相談をお受けしています。

ヤングケアラーは、①家庭内のことであるため表面化しづらい ②実態が周囲に把握されにくい ③子ども自身、悩みや不満を相談しにくいという特徴があります。そこで、支援の第一歩となるのは、地域の皆さんの「気づき」です。普段の見守りの中で「もしかしたら困っているのかも」「ヤングケアラーかもしれない」と感じたときは、お気軽に相談室にご連絡ください。

子どもの思いを大切にしながらどのような支援ができるか、いっしょに考えていきましょう。



- 場 所：市役所1階 子ども福祉課内
- 時 間：平日/午前8時30分～午後5時15分
- 問合せ：☎ 54-7020

連載 水野家物語

— 結城を治めた、二つの水野家 —

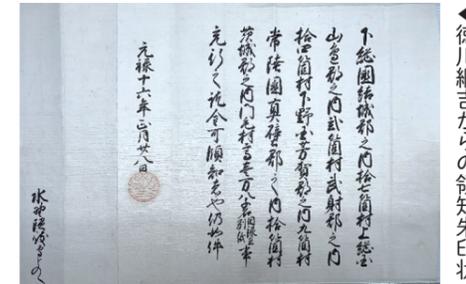
第5回 水野宗家の復興、いざ結城へ

元禄11(1698)年、福山藩5代藩主・勝岑が病気によりわずか2歳で亡くなり、跡取りを失い断絶した水野宗家は、福山藩10万石の所領と福山城を幕府に押収されてしまいます。しかし、初代藩主であった水野勝成の功績と、徳川家康の実母である於大の方の実家であることが考慮され、勝成のひ孫・勝長に能登国(石川県)1万石が与えられ、水野家の再興が許されました。

水野家再興後の元禄13(1700)年、勝長は結城をはじめとする下総国・上総国1万石の転封を命ぜられます。翌年には、下野国芳賀郡(栃木県)、常陸国真壁郡など3千石が増増され、さらに元禄16(1703)年1月9日に5千石の増増を受け、同時に新城の建造が認められ

ます。同月28日には、徳川綱吉から領知朱印状が出され、石高は1万8千石となり、ついに城主格の大名となったのです。

さて、新しい領地である結城に移るためには、町や人々の様子を知る必要があります。そこで勝長は、家老である水野織部長福に結城城跡と結城の城下町の調査を命じます。その調査は「結城使行 全」という本にまとめられており、江戸時代の結城の様子が記録されています。今回は、織部長福からみた江戸時代の結城の様子を見ていきます。



徳川綱吉からの領知朱印状
市生涯学習課 文化係 32-1931

図書館へ行こう LET'S GO TO THE LIBRARY

〈ゆき図書館注目の図書を紹介します〉

石鳥建設プラネットホール・ゆき図書館 ☎ 34-0150



1階9月イベント棚 「ベッドタイムストーリー」から

ママとすうすう

サラ・アクトン / 絵【学研プラス】

全然ねむくならないうさぎちゃん。ママとあそびたくて何度もベッドからぬげだします。ママはどうするのか？大人も子どももほっこりして最後はねむりに誘われます。『パパとすうすう』もあわせて読んでみてはいかがでしょう。



2階9月イベント棚 「ネットから生まれた本」から

SF作家の地球旅行記

柞刈 湯葉 / 著【産業編集センター】

SF作家として知られる著者が国内外を旅行した際の紀行文。国内編では筑波山が紹介されています。終盤にはSF作家らしく、架空編として短編小説のような「月面」、「日本領南樺太」が掲載されています。

天体ドームで秋のそらを見よう★

中秋の名月

旧暦で8月15日(今年は9月29日)の夜に見える月。平安時代からこの時期の月を見上げて親しんできました。

十三夜

今年は10月27日。十五夜に次いで美しいとされています。

しし座流星群

11月中旬から下旬にかけて、出現します。



国内最大級のレンズを搭載した天体望遠鏡で結城のそらを見てみよう!

※入館無料・予約不要。公開日時はホームページで確認するか問合せください。

共創型化学会社へ



次世代半導体を共創する



車の電動化を共創する



次世代高速通信を共創する



脱炭素×ケミカルを共創する

2023年1月1日、昭和電工マテリアルズ(旧日立化成)は統合新会社、レゾナックに生まれ変わりました。

RESONAC
Chemistry for Change

株式会社レゾナック 下館事業所(南結城)
〒307-0015 茨城県結城市大字鹿窪1772-1 TEL 0296-32-8111